



第5号
発行日
平成26年 8月17日
発行
社会福祉法人
かしの木会 くず葉学園
発行人 加藤契子
〒259-1302
神奈川県秦野市菩提2058-2
印刷：オフィス・フルプリント

TEL (0463) 75-3221 FAX (0463) 75-2550
URL : <http://www.kuzuhagakuen.com/>



創立30周年式典 式辞

理事長 飯田 雅子

樹木の芽吹きが勢いが伝わる新緑の頃となる、本日ここに社会福祉法人 かしの木会 くず葉学園の創設30周年記念式典を挙げていただくことは、私どもにとりまして、このうえない喜びでございます。

神奈川県ご当局や関係諸団体、秦野市並びに関係の皆様方の平素からの変わらぬご指導に感謝申し上げます。更にご多用の中にも拘わらず、本日の式典にご臨席頂いた多くの皆様方に心から御礼申し上げます。

さて、くず葉学園は、障害のあるお子さんの保護者の有志が、わが子の児童期の療育を、財団法人鉄道弘済会が経営する「弘済学園」を利用し、それなりに育ちを確認しながらも、それ以降の長い人生を描き求めるにあたり、成人施設の設立に考えが至り、社会福祉法人の申請にスタートしたのが昭和57年であります。

当時の法人取得申請には、所有地があつての建築設計であることが条件の一つでありましたので、発起人の方々は土地取得に大変ご苦労をなさいました。候補地があれば直ぐに出向き、自治会や近隣住民の方々への主旨説明に奔走されていましたが、なかなか成立せず2年余りをかけ5か所にも及ぶアプローチが続き、一時は断念せざるを得ないかという時もありながら、やっと現在地にたどり着くことができ、昭和58年12月に、晴れて法人申請受理に至ったのです。この間のご努力は、当時の障害者に対する社会の認識への挑戦であったと察することができます。

昭和59年5月1日、更生施設として発足したくず葉学園は、入所施設の対象者は60名。神奈川県と東京都が各30名の措置の方々です。一か月遅れて、地元の方々の利用の場として6月1日通所授産施設を開設いたしました。彼らの一日の活動のあり方としての考え方について、利用者一人ひとりの力に応じた、できる作業をすることを通して、生産活動に参画し、労働を経験しながら報酬としての賃金を得、各々に応じた経済性の活用を加え、自分の日常の暮らしを想定し、充実感を得ながらの自己実現の歩みを求める考えでの展開であるといえます。

更に4年後、昭和63年7月に体育館を内抱する地域交流センターを設置し、施設機能をフルに活かした地域と共にある障害者支援拠点となるための基盤整備をいたしました。開設20年を迎えた平成16年(2004年)は、利用者の年齢的経過を考え、更生施設増改築工事に入り、全館バリアフリー対応としました。

この間、彼らを守る法・制度の変遷は、昭和35年(1960年)制定、37年(1962年)施行の精神薄弱者福祉法から始まり、平成11年(1999年)名称変更した知的障害者福祉法に、平成15年(2003年)措置制度から支援費制度=措置から契約へ、平成18年(2006年)三障害を合併して障害者自立支援法に、平成24年(2012年)障害者自立支援法改正を経て、平成25年(2013年)障害者総合支援法へと変遷してきています。このように法・制度においては、今後も、よりベターな方向への動きもあろうかと思っています。

くず葉学園の発足当初の状況は、利用者入所60名、通所30名、スタッフ総勢31名でした。30年を経た現在は、入所施設利用者62名、通所利用者60名、スタッフ総勢65名となっています。支援体制は、入所施設利用は当初と変わらず4グループ(男性3・女性1)、日中活動は、全122名が10パートに分かれ、うち3パートが就労継続支援B型(21名)、7パートが生活介護(101名)で、所属を明確にして対応しています。日中活動における適性処遇を留意しての進めは、当初から一貫しています。30年の経過を踏まえ、利用者の高齢化にも課題意識をもたねばならないと思っています。

創設30周年の時を刻む今日に、私たちは、あらためて創設に込められた「障害があっても、生きいきと生きる人生を歩ませたい!」という保護者の想いを胸に「共感し、共に育ち、共に生きる」を理念として、利用者一人ひとりが自分の力や個性を大切に支えられ、その人らしさを発揮し、誇りを持ち、生きいきと充実した日々を重ね、輝いて生きる道を歩いていく支援に徹し、障害のある方の望ましいライフサイクルを描き歩むことを申しあげています。私たちは、この30年の道程を多くの方々にお支え頂きながら、大過なく歩めたことを真摯に踏みしめて、更にノーマライゼーションの実現に向けて、心新たに再出発する事をお誓いして式辞といたします。

創立30周年記念式典ならびに祝賀会を挙

平成26年6月6日金曜日、くず葉学園の近くにある秦野市立表丹沢野外活動センターのホールにおいて、創立30周年記念式典が行われました。

当日は、時折激しく降る雨模様のなか、ご来賓、役員、家族会、関係者110名が出席されました。飯田雅子理事長からの式辞につづき、秦野市長の代理にてご出席いただいた瓜本障害福祉課長様から市長のご祝辞を、また創設にま

つわるエピソードなどを織りこんで久保寺県議員様からなど各界の皆様よりお祝いの言葉を頂きました。

また、式典にあわせ永年ご協力いただいたボランティア関係者に理事長より感謝状と記念品が贈呈されました。

式典後、引き続き祝賀会が開催され、和やかななかにも30年の思い出を語り合う皆さまの様子は時間を忘れさせるひと時でした。





創立30周年記念式典 感謝状贈呈先

- 景 釣 会 様**
(昭和61年より毎年1回；
葛葉川にヤマメ放流)
- 折 鶴 会 様**
(平成8年9月より毎月1回；
衣類の補修、繕い等)
- さざんか民謡クラブ 様**
(平成8年12月より毎月1回；
休日プログラム、歌と踊り)
- 母親ボランティアの会 様**
(平成10年4月より毎月2回；
織物作品製作等)
- 絵手紙の会 様**
(平成10年4月より毎月1回；
休日プログラム、絵手紙サークル)
- 藤田 和子 様**
(平成16年5月より毎年4回；
看護師として、利用者の採血等)
- 北地区民生委員児童委員協議会 様**
(平成16年8月より毎年1回；
学園周囲の草刈等)
- はたの市民体操の会 様**
(平成16年8月より毎月1回；
休日プログラム、キティちゃん体操)

復活した30周年記念 くずはの泉からの池の瀑布と くず葉学園の名水取水場



30周年を記念して学園全体の美化に取り組み、正面玄関付近に園芸班による花壇プランタンの設置のほか、豆腐工房横の池に「名水くずはの泉」からの流水を取り込んだ滝を復活させました。あわせてくず葉学園の名水（井戸水）取水場を整備しました。

Mayumiの 簡単レシピ

嫁にも食べさせたい「秋なすのはさみ揚げ」

「秋ナスは嫁に食わすな」という言葉が有名ですね。秋ナスには種子がないので「子宝に恵まれない」、「体を冷やすから」という別の解釈もあります。でも旨みがギュッと詰まった美味しいナスを食べないのはもったいない！ボリュームたっぷり、食べ応えのあるフライに変身させてみましょう。

材 料

ナス 1個	鶏ひき肉 150g
玉ねぎ 50g	卵 1個
塩 0.5g	胡椒 0.1g
小麦 適量	卵 適量
パン粉 適量	油 適量

作り方

1. 米ナスは5mmの厚さに輪切りにし、水にさらす。
2. 玉ねぎはみじん切りにし、鶏ひき肉・卵と混ぜ合わせ塩・胡椒で調味する。
3. なすの水気をとり、片面に小麦粉をつけ2のひき肉

を挟む。

4. 3に小麦粉・卵・パン粉で衣をつけ、油で揚げる。

ポイント

今回は米ナスを使用しましたが、普通のナスでもOKです。鶏ひき肉でなく、豚肉を使用するとコクがでます。面倒な時は、ベーコンを挟んでも美味しいですよ。



新たな仲間をご紹介します

4月1日付採用

道川あさみ 支援員 生活1係 やまゆりクラス担当
杉山 護 支援員 生活1係 あかしあクラス担当
伊藤 雪絵 看護師 健康管理課

7月1日付採用

津嶋 純一 管理栄養士 総務係 給食

MISAKOとYUKIEのカルテから 夏を乗り切る体づくり

熱中症は体に熱がこもることが原因ですね。夏バテは代謝が悪くなるのが原因といわれています。ではその予防対策は？……。

汗をかくことは体の熱を発散し、老廃物を体の外に出すことで、ヒトの体のメカニズムには大切なことです。一日1回思いっきり汗をかくことが有効とされています。朝シャワー派の方も、就寝前には毎日の入浴時間をうまく使ってたっぷり汗を出し夏バテしにくい体を作っていきましょう。湯上りにクーラーや扇風機を使うことは汗腺を閉じるので、タオルドライの後は自然乾燥をお勧めします。そして、湯上りには『りんご酢等の飲みもの』が疲労回復に効果があるといわれています。

一番の対策は、『規則正しい生活とバランスのとれた毎日の食事』です。

平成26年度 組織変更

相談支援事業、美化清掃 (就労継続B型)を開始

平成26年度4月から次の組織が新設されました。相談支援事業所の認可を受け、「障害者のサービス利用計画案作成」等の計画相談事業を担当する『相談支援室』を新設しました。また、日中活動支援に美化清掃パートを新たに加え、くず葉学園3番目の就労支援継続B型作業としてスタートしました。医療対応を充実させるため看護師を増員することとあわせて「健康管理課」を新設しました。

研修会だより (7月31日現在)

5月	笹本知栄己 新保 公男 原 洋	高齢者セミナー 高齢者セミナー 支援スタッフ例会
6月	原田 智治	紙すき施設見学
7月	八嶋 和子 伊藤 雪絵 大久保洋志 鈴木 尚弥 原田 智治	タイルモザイク施設見学 医療看護研究会施設見学 普通救命講習Ⅱ 普通救命講習Ⅱ
	森下 桂子	関東地区知的障害福祉関係施設職員研究大会
	矢口 仁美	関東地区知的障害福祉関係施設職員研究大会
	山崎 友恵	危機介入セラピーティックホルドの実際
	全職員研修会	利用者の人権擁護について
	杉山 護	新人職員研修
	足立 夏彦	リスクマネジメント研修
	山口由美子	社会福祉法人会計簿記研修会
	井上 浩一	相談支援従事者初任者研修
	古家 奈美	相談支援従事者初任者研修
	後藤 克彦	相談支援従事者初任者研修